

第六十五回
帝國議會
貴族院

臺灣事業公債法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

付託議案

臺灣事業公債法中改正法律案

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

案

委員氏名

委員長	子爵新庄 直知君
副委員長	男爵園田 武彦君
	侯爵佐竹 義春君
	子爵戸澤 正己君
	宮田 光雄君
	赤池 濃君
	菊池 恭三君
	三橋 彌君
	濱口儀兵衛君

昭和九年三月九日(金曜日)午前十時十三分開會

○委員長(子爵新庄直知君) 只今カラ臺灣

事業公債法中改正法律案外一件ノ委員會ヲ開會イタシマス、最初ニ政府委員ノ本問題ニ付テノ御説明ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(堤康次郎君) 只今議題トナリ

マシタ臺灣事業公債法中改正法律案提出ノ理由ヲ説明イタシマス、現行臺灣事業公債

第四部第七類 臺灣事業公債法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號 昭和九年三月九日 貴族院

法ハ其第一條ニ於キマシテ、「臺灣ニ於ケル

事業費又ハ事業費補助ニ要スル經費ヲ支辨

シ、且酒專賣制度ノ實施又ハ私設鐵道買收

ニ要スル交付金トシテ交付スル爲政府ハ公

債ヲ發行シ又ハ之カ繰替支辨ノ爲借入ヲ爲

スコトヲ得」トシ、之カ限度ヲ從前募集シ

タルモノヲ通ジ一億五千二百萬圓ト規定シ

テ居リマスガ、昭和九年度ニ於キマシテ、

合成樟腦ノ擡頭ニ依リマス所ノ樟腦世界市

場ノ趨勢ニ應ジマシテ、臺灣ニ於ケル樟腦

事業ノ全面的合理化ヲ圖リ、併セテ專賣益

金ノ増加ヲ圖ルノ必要アルニ鑑ミマシテ、

粗製樟腦及樟腦油製造ノ官營ヲ實施スル

爲、現ニ該事業ヲ經營シツツアルモノニ對

シテ交付金ヲ公債ニ依リ交付スルノ必要ガ

アリマスノデ、前ニ述ベマシタ事業公債法

第一條中「酒專賣制度」ノ下ニ「若ハ粗製樟

腦及樟腦油製造事業」ト、是ダケヲ加ヘマ

シテ、公債發行制限額ヲ一億五千四百六十

萬圓ニ改正セムトスル次第アリマス、何

卒十分御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコト

ヲ希望イタシマス、ソレカラモウ一ツ議題

トナツテ居リマス臺灣官設鐵道用品資金

會計法改正ノ理由モ併セテ御説明申上ゲタ

イト存ジマス、臺灣官設鐵道用品資金會計

法ハ其第一條ニ於テ「鐵道用品ヲ購入貯藏

シ臺灣官設鐵道ノ運輸營業竝建設事業ノ需

用ニ應スル爲臺灣官設鐵道用品資金ヲ置キ

特別ノ會計ヲ立テシム」ト規定シテ居リマ

スルノデ、本會計法ヲ改正シ、右官設鐵道

ノ事業ニ關聯シテ經營スル自動車交通事業

用品ニ付テモ、又鐵道用品同様本會計ニ據

ラシムルノ必要ガアリマスルノデ、本案ヲ

提出シタ次第デアリマス、何卒十分ニ御審

議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタ

シマス

○政府委員(岡田信君) 只今議題ト相成

テ居リマスル二件ノ中、樟腦ニ關シマス

ル事業公債法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ

概略申上ゲタイト存ジマス、臺灣總督府ハ

明治三十三年カラ樟腦ノ專賣ヲ致シテ居リ

マス、總督府ノ取扱ヒマスル樟腦ハ粗製樟

腦ト樟腦油デアリマスガ、此粗製樟腦及樟

腦油ノ原料トナリマスル山地デ製造イタシ

マスル……假ニ山製樟腦ト申シテ居リマス

ガ、其樟腦ヲ用ヒマスルノハ現在ニ於キマ

シテハ臺灣製樟腦株式會社ガ一手デ許可ヲ受

ケテ致シテ居ルノデアリマス、此製樟腦會社

ノ製樟腦ヲ買上ゲマシテ、山地デ拵ヘマス

ル原料樟腦ノ製造ヲ官營デ致シタイト云フ

ノガ本案提出ノ理由デアリマス、此臺灣製

樟腦會社ハ大正八年ニ設立セラレタモノデア

リマシテ、ソレカラ以來ハズツ此會社ガ

致シテ居ルノデアリマスガ、其當時ハ世界

ニ於キマスル樟腦ノ九十「パーセント」以上

ハ日本ノ天然樟腦ガ占メテ居タノデアリ

マス、明治四十年頃ニチヨット獨逸ノ人造

樟腦ガ顔ヲ出シマシタケレドモ、其當時ハ

マダ試驗時代デアリマシテ、人造樟腦ハ市

場ニハ出ナカッタノデアリマス、所ガ此會

社ガ出來マシタ翌年ノ大正九年頃ニ、獨逸

ノ人造樟腦ガ亞米利加アタリノ市場ニ段々

出テ參リマシテ、今日デハ世界ノ樟腦ノ全

需要高ガ千五百萬斤位デアリマスガ、其約

半分位ハ人造樟腦デ、後ノ半分ヲ天然樟腦

ガ占メテ居ル、而シテ天然樟腦ノ三分ノ

二、五百萬斤位ガ臺灣樟腦デアリマシテ、後

ノ三分ノ一、二百五十萬斤ハ内地ノ專賣局デ

ヤツデ居リマス内地製ノ樟腦ガ占メテ居ル、

今日ハ幸ニ爲替ノ關係ヲ以チマシテ、亞米

利加アタリノ市場デハ優ニ競争出來ルノデ

アリマスケレドモ、ナカ／＼最近マデハ苦

シンダノデアリマス、今後モ天然樟腦ノ原料ニハ大體限度ガアリマスルシ、人造樟腦ノ原料デアリマス「ターペン・タイン」ノ供給ハ頗ル豊富デアリマス、生産關係ニ於テ少シモ油斷ガ出來マセス、ソコデ總督府ト致シマシテハ出來ルダケ此生産原價ヲ低下イタシマシテ、將來ノ競争ニ堪ヘ得ルヤウニ致シタイト云フコトヲ考ヘマシテ、熱心ニ生産費ノ低下ニ付テ研究イタシテ居ルノデアリマスルガ、今ノ所ナカ／＼目立ツタ低下ガ出來ナイノデアリマス、然ルニ此臺灣製腦會社ヲ買上ゲマスルト、百「キロ」ニ付キマシテ四十三圓位一ト息ニ生産費ガ低下イタスノデアリマス、從ヒマシテ今後ノ世界市場ニ於キマスル商戰市場ニ於テ、相當ノ競争力ガ出テ來ル譯デアリマス、ソレカラ一方此樟腦ノ原料デアリマス樟木デアリマスガ、是ハ殆ド大部分ハ官有地ニ生ヘテ居リマス官有樟腦木デアリマス、從ヒマシテ官ト致シマシテハ、自分ノ有ツテ居ル樟腦ヲ自分デ今度ハ製腦スルト云フコトデアリマシテ、何カニ付ケテ便宜ガ多イノデアリマス、樟林モ段々天然木ガ減ツテ行キマスノデ、其跡地ニハ造林ヲシナケレバナラスノデアリマスルガ、是等ノ關係ニ於キマシテモ官製腦シマスル方ガ經費モ

減リマスルシ、監督上モ宜シウゴザイマスルシ、造林ノ方ニ非常ナ便宜ガアル、是モ製腦會社ヲ買上ゲルト云フコトヲ考ヘターツノ理由デアリマス、第三ノ理由ト致シマシテハ此製腦會社ヲ買上ゲルトニ依リマシテ財政上ニ非常ナ力ガ付クノデアリマシテ、サウ云フ風ナ主ナル理由デ昭和九年ノ七月カラ專賣局ノ直營トシタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、ソレデ大體其計畫ノ内容ヲ申上ゲマスルト、現在ノ製腦業者デアリマスル臺灣製腦株式會社ニ對シマスル特許ヲ取消シマシテ、昭和九年ノ七月カラ官營デ事業ヲ開始イタシマス、特許ヲ取消シマスル關係上臺灣製腦會社ニ對シマシテハ交付金ヲ下附イタシマス、同時ニ政府ガ官營イタシマスル時ニ必要デアリマスル器具機械建物等ヲ製腦會社カラ徵收イタシマシテ、ソレニ補償金ヲ交付イタシマス、デ事業ノ經營ニ付キマシテハ大體現狀ヲ維持シテ參リマス、官營製腦ニ要シマスル經費ト致シマシテハ豫算ニハ九箇月分ヲ御願ヒ致シテ居ルノデアリマスルガ、九年度ノ要求總額ハ百四十萬六千九百圓デアリマス、其內譯ハ俸給ガ三萬八千八百圓餘デアリマシテ、事業費ガ百三十六萬八千圓餘デアリマス、ソレデ來年度ハ七月カラ始メマスカラ

初メノ間ニ補償購買費ガ多少要リマス、其金額ヲ申上ゲタイト思ヒマスガ、既定經費ハ補償購買費ガ二百八十萬二千七百五十圓デアリマスガ、九年度ハ三箇月程ノ分ト致シマシテ九十一萬一千三百圓餘ヲ御願ヒ致シテ居リマス、從テ補償購買費ハ百八十九萬一千圓バカリ減少スル譯デアリマス、製腦ノ操業費ト致シマシテハ三百四十萬四千七百圓バカリ要ルノデアリマシテ、是ハ全部交付公債支辨トシテ御願ヒ致シテ居リマス、交付金ハ臺灣製腦株式會社ニ對シテ交付シマスルノデアリマシテ、大正八年ニ同社ガ創立シマシテカラ以來昭和七年迄十四箇年間ノ平均ノ會社ノ一箇年ノ利益額ガ六十一萬三千五百五十五圓トナツテ居リマス、色々會社ト折衝イタシマシテ彼我ノ利害ヲ打算イタシマシタ結果ニ於キマシテ約此五箇年分ヲ交付スルヤウナ數字ガ出テ來タノデアリマス、其金額ガ三百六萬七千七百圓デアリマス、ソレカラ先程申上ゲマシタ通り官營イタシマスニ付テ必要ナル器具、機械、建物、事務用諸費、ソレカラ腦灶……腦灶ト云フノハ釜ノコトデアリマスガ、腦灶ノ徵收補償金ガ三十三萬六千九百五十五圓ト云フモノヲ補償イタシマス、之ガ全部公債デ御願ヒ致シテ居リマ

スノデ、公債ノ額面ニ致シマス三百四十萬圓餘リニナリマス、ソレカラ交付公債ノ利子ト致シマシテ九萬二千六百四十五圓、ソレカラ諸掛費ト致シマシテ千八百五十一圓、合セテ九萬四千四百九十六圓ヲ九年度ニ必要トスルノデアリマス、ソレデ製腦會社ヲ買上ゲマスル理由ノ一ツトシテ官營ニ致シマス大分利益ガアルヤウニ申上ゲタノデアリマスガ、一口ニ申上ゲマスルト基本年度ト致シマシテハ九十六萬二千二百五十二圓ノ利益ガ一年間ニ上ル積リデアリマス、其中カラ公債ノ利子等ヲ十三萬八千九百六十八圓バカリ差引キマスト官營ニ依ル純利益ガ八十二萬三千二百八十四圓ト云フコトニ相成リマシテ四年足ラズシテ買上金ヲ償却シ得ル斯ウ云フ考デアリマス、極ク大體ノコトデアリマスガ、官營ニ致シマスル事由トソレニ關聯シマシタ諸經費ノ計算ノコトヲ以上ノ通り申上ゲテ置キマス、ドウゾ宜シク御審議ノ程ヲ御願ヒ致シマス

○委員長(子爵新庄直知君) 今日ハ政府委員ノ御説明ヲ伺ヒマシテ、尙ホ研究ノ上次回ニ質問イタシタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵新庄直知君) ソレデハ本日
ハ此程度デ止メテ置キマス、是ニテ散會イ
タシマス

午前十時三十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵新庄 直知君

副委員長 男爵園田 武彦君

委員

子爵戸澤 正巳君

宮田 光雄君

菊池 恭三君

三橋 彌君

濱口儀兵衛君

政府委員

拓務政務次官 堤 康次郎君

臺灣總督府總務長官 平塚 廣義君

臺灣總督府財務局長 岡田 信君

昭和九年三月九日印刷

昭和九年三月十日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局